

20231117 連合神奈川第 35 回定期大会

連合神奈川は、17日、ワークピア横浜にて『第35回定期大会』を開催、154名の代議員(運輸労連は5名)が出席し、活動報告及び第1号議案(運動方針案)から第7号議案までを審議し満場一致で可決、運動方針を含め予算、役員体制を確立しました。今期をもって吉坂会長が退任され、新たに林会長が就任し、新体制でスタートしました。



議長団に、ナカテガワ(自治労)代議員、サトウ(情報労連)代議員が選出され、資格審査委員会から、出席代議員報告を受け、『大会成立』が宣言されました。



吉坂連合神奈川会長は、コロナ禍での運動の変化と今後の運動への対応についてや、政治への関わりにふれたあいさつがされました。国政選挙では人物本位で推薦をせざる得ない状況の中で取り組んだ。政治については、労働組合という組織が一体で闘う体勢が必要。と述べていました。

第1号議案 〈運動方針〉

林事務局長より提案がされました。

『社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会を目指す～』とスローガンを掲げて多岐にわたる取り組みを提案されました。

I. 「40万連合神奈川」へ向けた組織拡大・組織強化の着実な前進と社会的影響力のある労働運動の強化

1. 神奈川における連合運動の活性化と構成組織との連携強化に向けて
2. 組織拡大の取り組み
3. 地域連合の活動の前進に向けて
4. 青年委員会活動の推進
5. 女性委員会活動の推進
6. シニア連合との連携強化
7. 広報活動の充実
8. 労働教育活動の充実
9. 財政基盤の確立

Ⅱ. 「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ安心社会をめざす～」の構築に向けた「政策・制度要求と提言」に関する活動の強化

1. 「政策・制度要求と提言」の策定に向けた取り組みの強化
2. 「政策・制度要求と提言」の実現に向けた取り組みの強化

Ⅲ. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進とワークルール・労働条件の確立

1. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進とワークルールの確立
2. 賃金・労働諸条件の確立と向上

Ⅳ. ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重される職場・社会の実現

1. ジェンダー平等社会の実現に向けて
2. 連合神奈川「第4次ジェンダー平等推進計画」について
3. 連合「男女平等月間」の取り組み

Ⅴ. 地域と協働した連帯活動の展開

1. フードバンク活動の推進
2. 支えあい助け合い活動の推進
3. 平和運動の推進
4. 自然災害への取り組み
5. 人権に関わる活動の推進
6. 環境に関わる活動の推進
7. メーデーの取り組み

Ⅵ. 政策実現に向けた政治活動の強化

1. 政治センターの機能強化
2. 政党との関係
3. 各級選挙に向けた取り組み
4. 連合神奈川議員団会議との連携強化

Ⅶ. 国際連帯活動の推進と展開

1. 日・中・韓の三団体による定期交流事業
2. 連合関東ブロック等の国際交流事業



第2号議案 会館積立金会計の廃止（案）

第3号議案 2024年度予算（案）

第4号議案 「連合中央会費制度」への移行に向けた対応及び規約の改正（案）

○中央会費制度の向けて、連合神奈川内の規約を変えなければいけない部分の規約が改正がされました。

第5号議案 役員選出（案）

○選挙管理委員会より提案されました。

第6号議案 大会スローガン（案）

〈メインスローガン〉

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ安心社会をめざす～

- 連合運動のモデルチェンジ（フェーズ2）に向けて取り組もう。
- あらゆる媒体をフル活用し、社会への発信を強化して「顔の見える運動」を実現しよう。
- 働く者・生活者の視点に立ち、「With/after コロナ」を踏まえ、環境、教育、平和、男女平等参画・ジェンダー平等推進、社会保障、税制改革、などの政策・制度要求、実現に取り組もう。
- 連合プラットフォームを活用した地域活性化に取り組み、地域で働くすべての仲間を支える運動を実現しよう。
- 「フードバンクかながわ」に積極的に参画するとともに、「支え合い助け合い運動」に取り組む、社会貢献活動の活性化と理解・共感を広げる取り組みを推進しよう。
- 地震や台風など自然災害からの復興・再生に向けて、雇用と生活の再建に全力を尽くそう。
- 連合神奈川議員団会議との連携強化をはかり、「働くことを軸とする安心社会」の実現に取り組もう。

第7号議案 大会宣言（案）



全ての議案が満場一致で可決・承認されました。

林新会長より執行部を代表し挨拶がされ、ガンバロー参照にて終了しました。